

秋の深まりを感じながら、第21回学校音楽祭が開催されました

11月1日(火)に活性化センターにおいて、町内の小・中・高校生が一堂に集まり発表する学校音楽祭が開催されました。音楽祭は西山学院高校の吹奏楽に始まり、七ヶ宿中学校の生徒による箏曲の発表や合唱、関、湯原小学校や西山学院高校の合唱や合奏や手話、白石高校七ヶ宿校のバンド演奏と続き、最後は西山学院高校生の弾き語りで幕を閉じました。主催の七ヶ宿町教育推進協議会の中嶋会長(関小校長)から、「プログラムの表紙の作成からこの音楽祭が終わるまで、皆さんの一人一人が、良い発表をしようと頑張りました。いろんなかたちの発表がありとても楽しかったと思います。」と閉会の挨拶がありました。鑑賞するだけではなく、児童・生徒の皆さんが、他の人を楽しませて自分も楽しむという、とても有意義な音楽祭でした。

公民館分館改修工事が完了しました

横川公民館トイレ改修工事：3,397,800円

男女共用トイレを別々のトイレに改修

干蒲公民館屋根塗装工事：1,554,000円

屋根が錆びて雪が落下しづらくなり、放置すると雪の重みで公民館が破損するのでサビ止め塗装

湯原コミュニティーセンター田中分室トイレ改修工事：346,500円
和式便器を洋式に改修

平成23年度七ヶ宿ふるさと祭りが開催されました

10月23日(日)に七ヶ宿ふるさと祭りを開催しました。今年は、「活性化センター」・「保健センター」・「いこいの里」を会場に様々なイベントを開催しました。

活性化センターで開催したハートでアートでは、一人ひとりの手形の中に被災地への思いを書いて一つの大きな壁掛けを作りました。たくさんのご協力をいただき見事完成することが出来ました。また、チャレンジコーナーでは、わらじ飛ばしやリングの皮むきなど様々な競技に大人子ども関係なく本気で挑戦していました。

午後からの七ヶ宿ふるさとLIVEでは、文化協会の他に保育所や関小学校6年生のよさこいなど、今年は子どもたちの参加が多く、いつも以上に盛り上がったLIVEになりました。

ふるさとふれあい市では、新米やキノコなど秋の味覚を堪能することが出来ました。その他にも、福祉体験・応急手当体験や昔遊びなどの体験コーナーや被災者への義援金を集めるためのバザーなど終日たくさんのイベントが開催されました。

今年は昨年以上の豊富な内容で、町民の皆さんには大いに楽しんでもらえたのではないのでしょうか。来年はさらに楽しいイベントを用意しますのでまたのご来場をお待ちしております。



▲福祉体験



▲わらじ飛ばし



▲ハートでアート

12月の行事

12月10日 七ヶ宿町子ども会育成会主催「クリスマス会」：町内小学生対象
小学校を通じて募集しています

健康一口メモ

望まない妊娠を避ける一つの方法

介護老人保健施設 リラの郷 門間 俊彦 先生(婦人科医師)
妊娠を望まないけれど避妊に失敗して「困ったなあ」と思ったとき、あなたはどのようにしますか。

そんな時はすぐに婦人科(産婦人科)へ相談に行きましょう。

最近日本でも、性交後に服用することで避妊できる「緊急避妊薬」が、婦人科(産婦人科)で処方できるようになりました。

この薬は性交後72時間(3日)以内に服用することで、妊娠の可能性を約81%低下させることができます。

ただし、この薬は避妊に失敗したときや避妊しなかった性交後に、臨まない妊娠から女性を保護するために緊急的に用いるも

のであり、身体への負担も少なくないの
で、安易な性行為のために用いるものでは
ありません。

具体的な副作用としては、不正性器出血
や悪心、頭痛、下腹痛、倦怠感、めまいな
どが起こる場合があります、この薬に過敏性の
ある方、重い肝障害のある方、妊婦の方は
服用できません。

また、服用後に妊娠していないと分かる
まで、避妊を続ける必要があります。
婦人科(産婦人科)では避妊方法のほか、
子宮がん検診や性感感染症などの話を聞くこ
ともできますので、受診は大変有益です。



いちちら診療所

所長 宮崎 武文

暖房器具の適切な使用について

これから本格的な冬を迎えようとしてい
ますが、練炭こたつ、ストーブなど暖房
器具の使用に際しては換気に十分留意して
いただくようお願いいたします。不完全燃焼に
より一酸化炭素が発生し中毒となる可能性
があります。一酸化炭素中毒の症状として
は軽症では頭痛、吐き気などですが進行す
ると意識障害や呼吸困難、頻脈などの症状
が出現し、さらに進行すると肺水腫や昏睡
心停止などを起こし命に関わる状態となり
ます。さらに、一酸化炭素は無臭であり、

中毒の症状に気づいた時には重篤な状態に
陥っている場合も少なくありません。こ
のため練炭こたつやストーブなどの使用に
あたっては、常に燃焼状態に注意を払い、
こまめに換気を行い、使用中に少しでも吐
き気、頭痛などの気になる症状がみられた
場合には器具の使用を中止し十分な換気を
行うようにしましょう。

《整形外科外来のお知らせ》
12月は9日(金)のみとなります。

《休診のお知らせ》
毎週火曜日の午後は研修のため休診とさ
せていただきます。

年末年始の休診は12月29日(木)〜1月
3日(水)となります。

思いやりのある良質で信頼される医療を目指して

～公立刈田総合病院紹介～ ☎ 25-2145

一酸化炭素中毒にご注意下さい

冬が来て、日増しに寒さも厳しくなるこの時期、
暖房が欠かせない季節がやってきました。

震災以降、節電が叫ばれる中、石油ストーブや
練炭、炭火で暖をとる家庭が増えているのではない
かと予想されます。機密性の高い場所での暖房には、
「一酸化炭素中毒」の危険が潜んでいます。「一酸化
炭素」は、不完全燃焼に伴って発生する無臭の気
体で、非常に強い毒性があります。

中毒初期は軽い頭痛や吐き気等ですが、急速に意
識障害や呼吸障害を来し、死に至ることもまれでは
ありません。震災直後に、給油待ちの車内で小型ス
トーブを使用していた男性が、一酸化炭素中毒で死
亡した事件などもありました。白石管内でも練炭な
どの使用に伴う一酸化炭素中毒が発生しています。

治療としては、まず中毒の環境から一刻も早く脱
出し、可能な限り高濃度の酸素投与を行うことが肝
要です。ただし、一旦回復しても時間をおいて記憶
障害や失禁などの後遺障害が起こることもあり得ま
す。

適度に換気を行うことによる予防や、中毒症状を
理解することにより早期の対応ができることが重要
と思われま。また、「一酸化炭素警報器」の利用
なども中毒の予防に役立つと思われま。

一酸化炭素は、目に見えず無臭のため危険
はありますが、皆さんのちょっとした注意で中毒
の発生を防ぐことができます。

暖房器具とは上手に付き合いましょ。

建物内での炭火の使用は特にご注意下さい



公立刈田総合病院 看護師募集中!

詳しくは、当院総務課人事係まで

お問い合わせ先：☎ 25-2145

http://www.katta-hosp.shiroishi.miyagi.jp